

九州の畜産



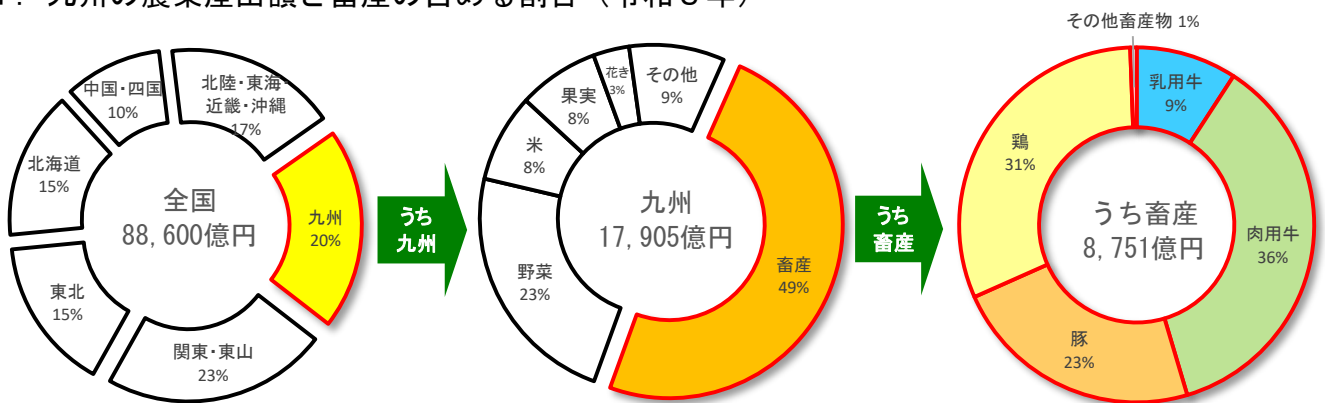
令和5年11月版
農林水産省
九州農政局 生産部 畜産課

九州の畜産 目次

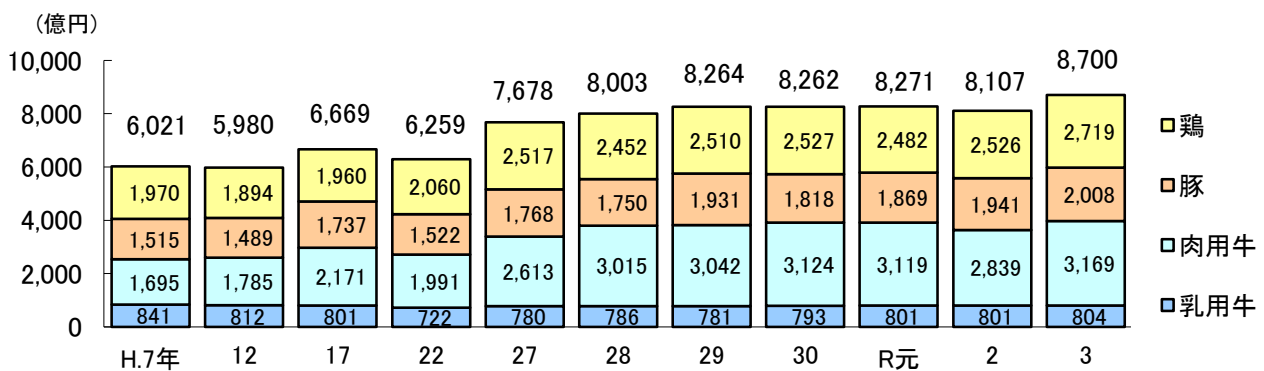
1 畜産の位置付け	
1. 九州の農業産出額と畜産の占める割合(令和3年)	1
2. 畜種別農業産出額の推移(九州)	1
3. 九州各県の農業産出額と畜産の占める割合(令和3年)	1
4. 県別農業産出額の品目別ベスト10	2
2 乳用牛	
1. 乳用牛の飼養動向(九州)	3
2. 九州各県の乳用牛飼養の現状(令和5年2月1日現在)	3
3. 九州各県の経産牛飼養頭数(令和5年2月1日現在)	3
4. 生乳生産量及び用途別処理量	4
5. 九州各県の生乳生産量	4
6. 搾乳牛通年換算1頭当たりの収益性(令和3年度・九州)	4
3 肉用牛	
1. 肉用牛の飼養動向(九州)	5
2. 九州各県の肉用牛飼養の現状(令和5年2月1日現在)	5
3. 九州各県の子取り用雌牛飼養頭数(令和5年2月1日現在)	5
4. 肉用子牛の取引価格(九州)	6
5. 肉用牛対象畜産の1頭当たり収益性(令和3年度・九州)	6
4 豚	
1. 豚の飼養動向(九州)	7
2. 九州各県の豚飼養の現状(令和5年2月1日現在)	7
3. 肥育豚1頭当たりの収益性(令和3年度・九州)	7
5 ブロイラー	
1. ブロイラーの飼養動向(九州)	8
2. 九州各県のブロイラー飼養の現状(令和5年2月1日現在)	8
6 採卵鶏	
1. 採卵鶏の飼養動向(九州)	8
2. 九州各県の採卵鶏飼養の現状(令和5年2月1日現在)	8
7 配合飼料	
1. 配合飼料生産の推移(九州)	9
2. 配合飼料工場渡価格の推移[バラ及び袋物の全畜種加重平均価格・税込](全国)	9
8 粗飼料	
1. 飼料作物の作付面積の推移(九州)	9
2. 飼料作物作付の現状(令和4年産・九州)	9
3. 飼料用米作付面積の推移(九州)	10
4. 稲発酵粗飼料の作付面積の推移(九州)	10
5. 稲わらの利用量の推移(九州)	10
6. 畜産農家における飼料用稲わらの産地別利用料(令和3年産・九州)	10
7. 放牧面積の推移(九州)	11
8. 放牧頭数の推移(九州)	11
9. コントラクター組織数及びTMRセンター施設数の推移(九州)	11
9 畜産環境	
1. 家畜排せつ物法への対応状況(令和3年12月1日現在・九州)	12
(1)管理基準適用対象農家戸数	12
(2)畜種別構造設備基準への適合状況	12
2. 畜産経営に起因する苦情発生状況(令和4年・九州)	12
(1)苦情発生戸数推移	12
(2)畜種別苦情発生状況	12
(3)苦情内容の内訳	12
10 畜産における農業生産工程管理(GAP)について	
JGAP家畜・畜産物認証取得農場数及び一覧	13
11. 家畜衛生	
1. 主な家畜伝染病の発生状況(令和4年1月～12月)	14
2. 届出伝染病の発生状況(令和4年1月～12月)	14

1 畜産の位置付け

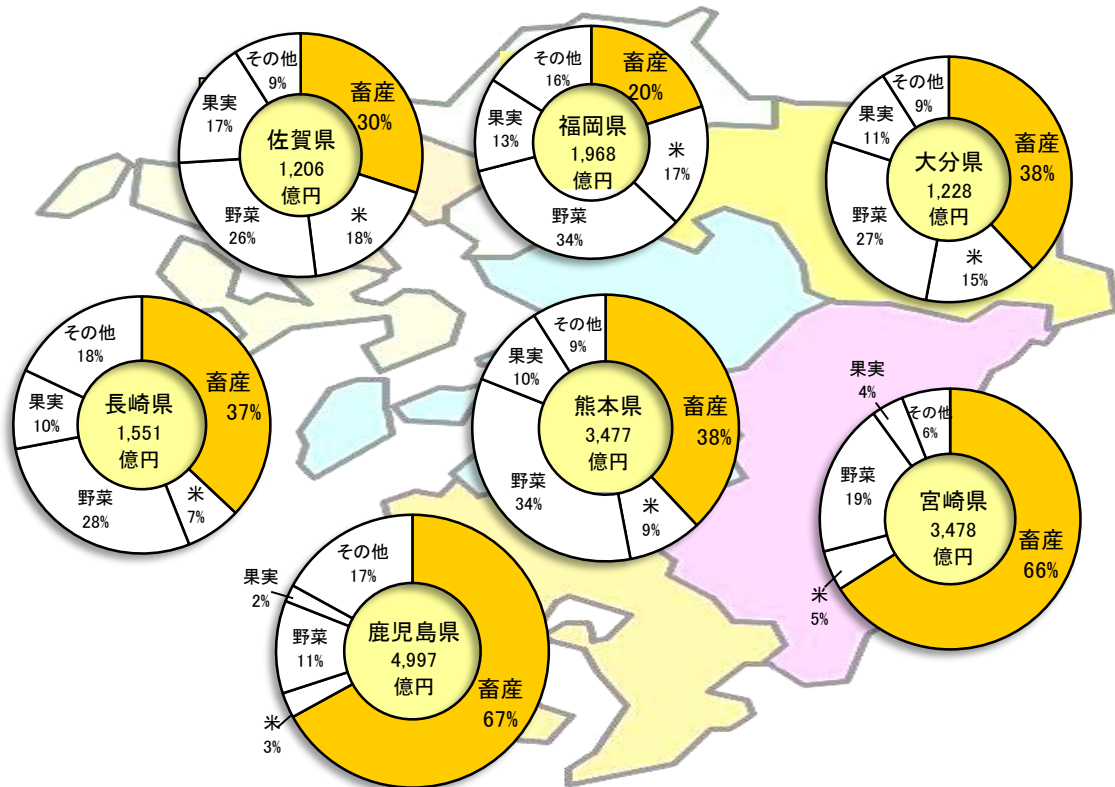
1. 九州の農業産出額と畜産の占める割合（令和3年）



2. 畜種別農業産出額の推移（九州） ※その他畜産物を除く
















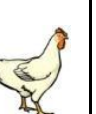









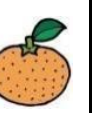


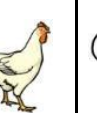








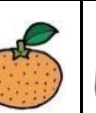










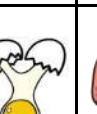






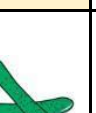
















3. 九州各県の農業産出額と畜産の占める割合（令和3年）



資料：農林水産省「令和3年農業産出額」

4. 県別農業産出額の品目別ベスト10

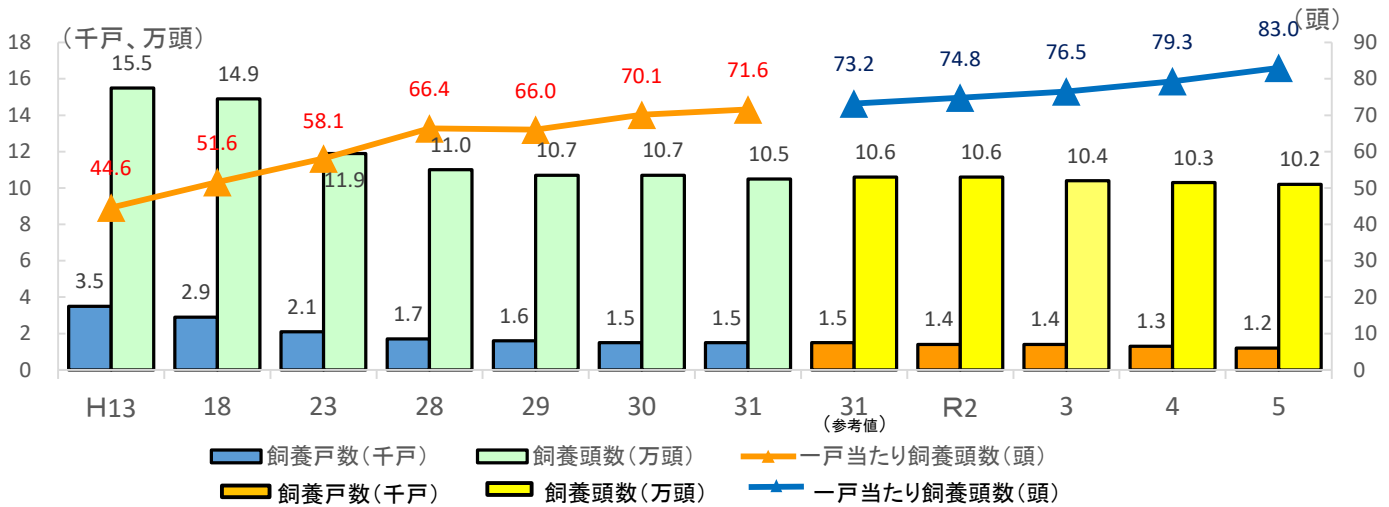
単位：億円

県／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
福岡県 (16位)										
	米 327	いちご 218	鶏卵 113	ぶどう 86	生乳 83	肉用牛 75	なす 59	みかん 52	トマト 50	ねぎ 48
佐賀県 (27位)										
	米 223	肉用牛 181	みかん 148	ブロイラー 87	いちご 86	たまねぎ 72	豚 51	きゅうり 33	アスパラガス 24	ねぎ 18
長崎県 (20位)										
	肉用牛 265	ばれいしょ 148	豚 125	みかん 120	いちご 115	米 105	ブロイラー 78	鶏卵 52	生乳 48	トマト 40
熊本県 (5位)										
	肉用牛 454	トマト 362	米 302	生乳 300	豚 255	みかん 169	いちご 140	すいか 119	メロン 115	ブロイラー 107
大分県 (25位)										
	米 178	肉用牛 139	豚 112	生乳 81	ねぎ 71	ブロイラー 57	鶏卵 47	いちご 36	みかん 34	日本なし 30
宮崎県 (4位)										
	肉用牛 815	ブロイラー 739	豚 518	きゅうり 167	米 159	ピーマン 110	鶏卵 106	生乳 84	トマト 62	だいこん 50
鹿児島県 (2位)										
	肉用牛 1,240	豚 900	ブロイラー 736	鶏卵 316	ばれいしょ 184	米 176	茶(生葉) 152	さとうきび 130	かんしょ 118	生乳 88

資料：農林水産省「令和3年農業産出額」

2 乳用牛

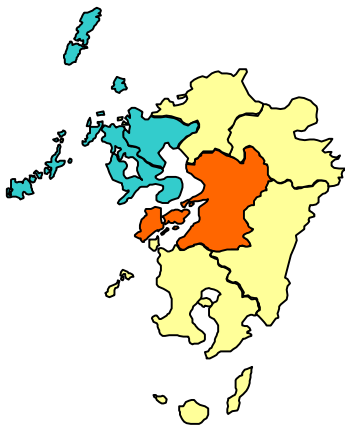
1. 乳用牛の飼養動向（九州）



注：令和2年から統計手法が変更されたため、令和2年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。

資料：農林水産省「畜産統計」

2. 九州各県の乳用牛飼養の現状（令和5年2月1日現在）



	飼養戸数(戸)	飼養頭数(頭)	飼養頭数の全国順位
全国	12,600	1,356,000	-
九州	1,230	102,100	-
(九州/全国)	(9.8%)	(7.5%)	-
福岡	170	10,700	21
佐賀	34	1,970	43
長崎	123	6,170	26
熊本	467	43,800	3
大分	98	13,300	14
宮崎	204	13,400	12
鹿児島	138	12,800	15

飼養頭数 ■ ~1万頭 ■ 1万~3万 ■ 3万~

資料：農林水産省「畜産統計」

3. 九州各県の経産牛飼養頭数（令和5年2月1日現在）

単位：千頭、頭（1戸当たり頭数）

	29	30	31	31(参考値) ※注	R2	R3	R4	R5	一戸当たり 頭数
全国	852.1	847.2	839.2	840.7	838.9	849.3	861.7	836.6	66.4
九州	76.1	74.6	71.0	74.9	73.4	73.1	72.7	69.7	56.7
(九州/全国)	(8.9%)	(8.8%)	(8.5%)	(8.9%)	(8.7%)	(8.6%)	(8.4%)	(8.3%)	-
福岡	9.6	9.0	8.6		8.6	8.3	8.4	7.3	43.1
佐賀	1.9	1.8	1.6		1.8	1.6	1.7	1.5	45.3
長崎	6.4	6.1	5.4		5.5	5.4	5.3	4.9	39.8
熊本	29.3	29.6	28.7		30.2	30.3	30.4	29.7	63.6
大分	8.4	8.0	7.5		8.2	8.0	8.0	8.0	81.1
宮崎	10.1	9.8	9.4		9.7	9.8	9.7	9.3	45.7
鹿児島	10.5	10.4	9.9		9.4	9.6	9.3	8.9	64.4

資料：農林水産省「畜産統計」

注：令和2年から統計手法が変更されたため、令和2年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。

4. 生乳生産量及び用途別処理量

単位：千ト、%

区分	29	30	31・元	R2	R3	R4	R5(1-5月)
生乳生産量	7,277	7,289	7,314	7,438	7,591	7,617	3,113
(対前年増減率)	(▲1.6)	(0.2)	(0.3)	(1.7)	(2.0)	(0.3)	(▲4.4)
九州	625	627	615	621	633	617	257
(対前年増減率)	(▲3.2)	(0.2)	(▲2.0)	(1.1)	(1.9)	(▲2.5)	(▲6.2)
牛乳等向け処理量	3,986	4,000	4,000	4,019	4,000	3,977	1,577
(対前年増減率)	(▲0.1)	(0.3)	(▲0.0)	(0.5)	(▲0.5)	(▲0.6)	(▲3.5)
九州	413	421	427	438	411	428	172
(対前年増減率)	(0.9)	(1.8)	(1.3)	(2.6)	(▲6.6)	(4.1)	(4.2)
乳製品向け処理量	3,241	3,243	3,270	3,374	3,543	3,594	1,516
(対前年増減率)	(▲3.3)	(0.1)	(0.8)	(3.1)	(4.8)	(1.4)	(▲5.4)
九州	105	102	98	106	106	102	50
(対前年増減率)	(▲9.3)	(▲2.7)	(▲4.7)	(8.0)	(0.2)	(▲3.8)	(▲13.8)

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

5. 九州各県の生乳生産量

単位：千ト、%

区分	29	30	31・元	R2	R3	R4	R5(1-5月)	(対前年増減率)
全国	7,277	7,289	7,314	7,438	7,591	7,617	3,113	(▲4.4)
九州	625	627	615	621	633	617	257	(▲6.2)
(九州/全国)	(8.6%)	(8.6%)	(8.4%)	(8.3%)	(8.3%)	(8.1%)	(8.3%)	
福岡	78	77	76	74	73	68	27	(▲12.9)
佐賀	15	15	14	14	14	14	5	(▲16.7)
長崎	51	48	46	46	45	42	18	(▲5.3)
熊本	247	251	253	259	267	266	112	(▲3.4)
大分	70	71	69	71	72	70	30	(▲3.2)
宮崎	80	79	78	79	83	80	33	(▲8.3)
鹿児島県	85	85	79	78	78	77	32	(▲8.6)

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

6. 搾乳牛通年換算1頭当たりの収益性(令和3年度・九州)

単位：円

粗収益 ①	生産物(生乳)			副産物価額 (円)	費用計② (内訳は以下の③~⑤参照)	所得 ①-②
	実搾乳量(kg)		価額(円)			
1,141,200	8,877	983,745	157,455	830,616	310,584	

物財費 ③								雇用 労働費 ④	支払い利子 ・地代 ⑤
	飼料費	光熱水料 及び動力費	獣医師料及 び医薬品費	貸借料 及び料金	乳牛 償却費	農機具費	その他 物財費		
794,871	479,663	30,851	28,498	15,598	134,539	34,644	71,078	27,542	8,203

注1：副産物価額はきゅう肥の販売価額及び自家仕向け分の評価額や、子牛の生後10日齢時点の市価評価額等。

注2：調査期間＝令和3年4月から令和4年3月までの1年間。

資料：農林水産省「牛乳生産費」

《参考》所得の計算式

畜産物生産費結果より以下の計算式によって求めた。(以下、肉用牛、肥育豚の所得計算とも共通)

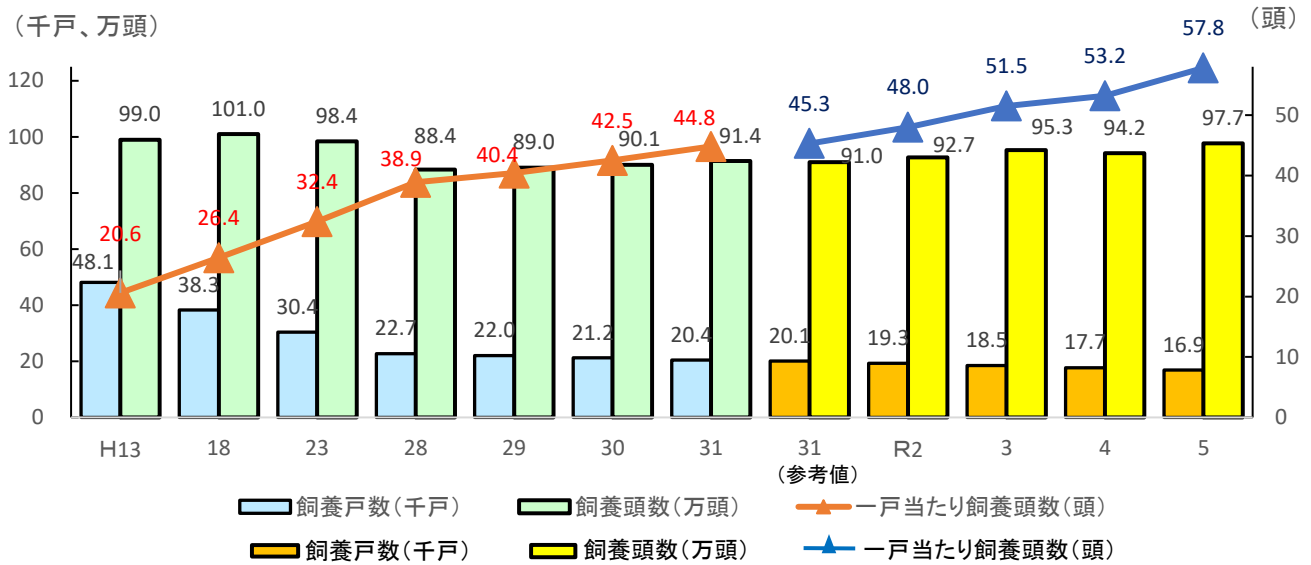
粗収益(主産物+副産物価額の合計)－[生産費総額－(家族労働費+自己資本利子+自作地地代)]

※ただし生産費総額＝費用合計+支払利子+支払地代+自己資本利子+自作地地代

注：所得には配合飼料価格安定基金や、各種補給金等の補助金は含まない。

3 肉用牛

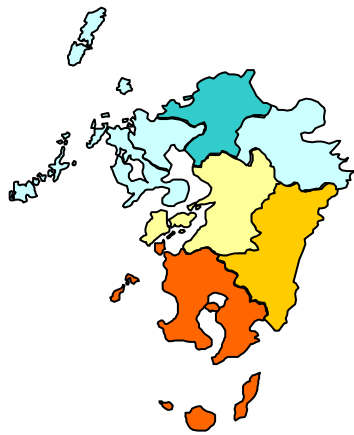
1. 肉用牛の飼養動向（九州）



注：令和2年から統計手法が変更されたため、令和2年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。

資料：農林水産省「畜産統計」

2. 九州各県の肉用牛飼養の現状(令和5年2月1日現在)



	飼養戸数(戸)	飼養頭数(頭)	飼養頭数の全国順位
全国	38,600	2,687,000	-
九州	16,900	977,400	-
(九州/全国)	(43.8%)	(36.4%)	-
福岡	169	23,400	25
佐賀	519	52,400	14
長崎	2,080	91,700	5
熊本	2,090	139,100	4
大分	1,000	52,800	13
宮崎	4,700	260,200	3
鹿児島	6,350	357,800	2

飼養頭数 ■ ~5万頭 ■ 5万~10万 ■ 10万~20万 ■ 20万~30万 ■ 30万~

資料：農林水産省「畜産統計」

3. 九州各県の子取り用雌牛飼養頭数(令和5年2月1日現在)

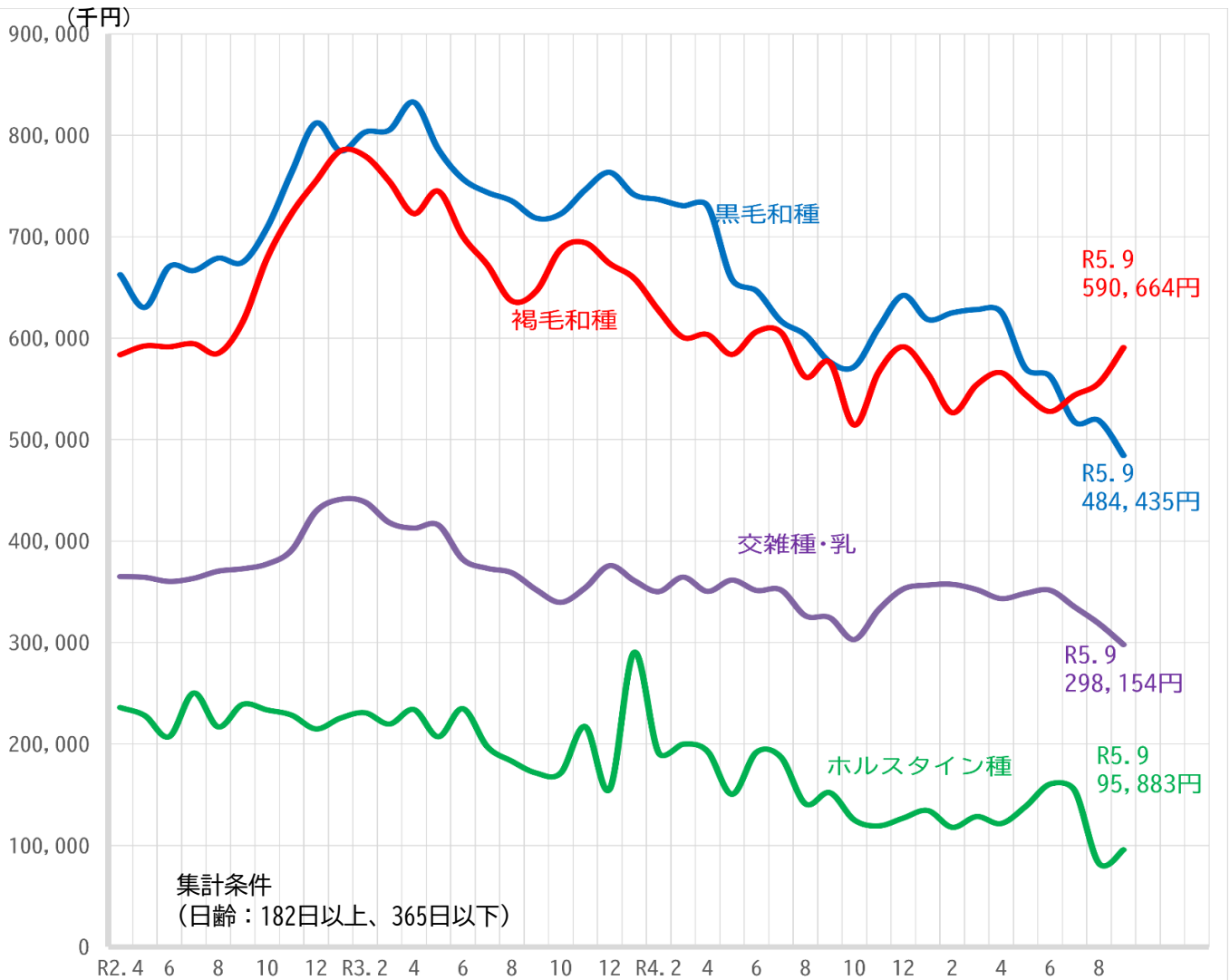
単位：千頭、頭(1戸当たり頭数)

	29	30	31	31(参考値) ※注	R2	R3	R4	R5	一戸当たり頭数
全国	597.3	610.4	625.9	605.3	622.0	632.8	636.8	645.2	16.7
九州	288.3	295.0	304.9	287.9	297.2	304.3	306.4	312.9	18.5
(九州/全国)	(48.3%)	(48.3%)	(48.7%)	(47.6%)	(47.8%)	(48.1%)	(48.1%)	(48.5%)	-
福岡	2.3	2.4	2.4	/	2.9	2.9	3.0	2.9	17.4
佐賀	9.2	9.2	10.1		9.7	9.9	10.0	10.1	19.5
長崎	27.4	29.1	29.4		29.3	30.6	30.6	30.9	14.9
熊本	36.8	37.1	37.7		39.6	41.2	42.0	43.7	20.9
大分	16.2	16.8	17.3		17.2	17.4	17.7	18.1	18.1
宮崎	80.6	83.2	85.7		82.9	83.8	85.2	86.0	18.3
鹿児島	115.8	117.1	122.2		115.6	118.6	117.8	121.2	19.1

資料：農林水産省「畜産統計」

注：令和2年から統計手法が変更されたため、令和2年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。

4. 肉用子牛の取引価格（九州）



資料：農畜産業振興機構「肉用子牛取引情報」

5. 肉用牛対象畜毎の1頭当たり収益性（令和3年度・九州）

単位：円

	粗収益 ①	主産物(1頭あたり)		副産物価額(円) ※	費用計 ② (内訳は以下の③～⑤参照)	所得 ①-②
		販売時生体重(kg)	価額(円)			
子牛生産費(肉専用種)	758,702	288.2	736,077	22,625	520,508	238,194
去勢若齢肥育牛生産費	1,380,639	810.4	1,370,347	10,292	1,318,891	61,748
乳おす肥育牛生産費	549,234	807.2	544,636	4,598	627,161	△ 77,927
交雑種肥育牛生産費	795,732	826.9	790,536	5,196	835,596	△ 39,864

	物財費 ③	種付料	もと畜費	飼料費	獣医師料 及び医薬品費	繁殖めす 償却費	その他 物財費	雇用 労働費 ④	支払利子 ・地代 ⑤
去勢若齢肥育牛生産費	1,295,567	-	829,613	384,549	11,645	-	69,760	12,858	10,466
乳おす肥育牛生産費	620,160	-	272,985	305,906	3,981	-	37,288	1,810	5,191
交雑種肥育牛生産費	824,160	-	437,562	344,801	4,503	-	37,294	3,777	7,659

注1：副産物価額はきゅう肥の販売価額及び自家仕向け分の評価額等。

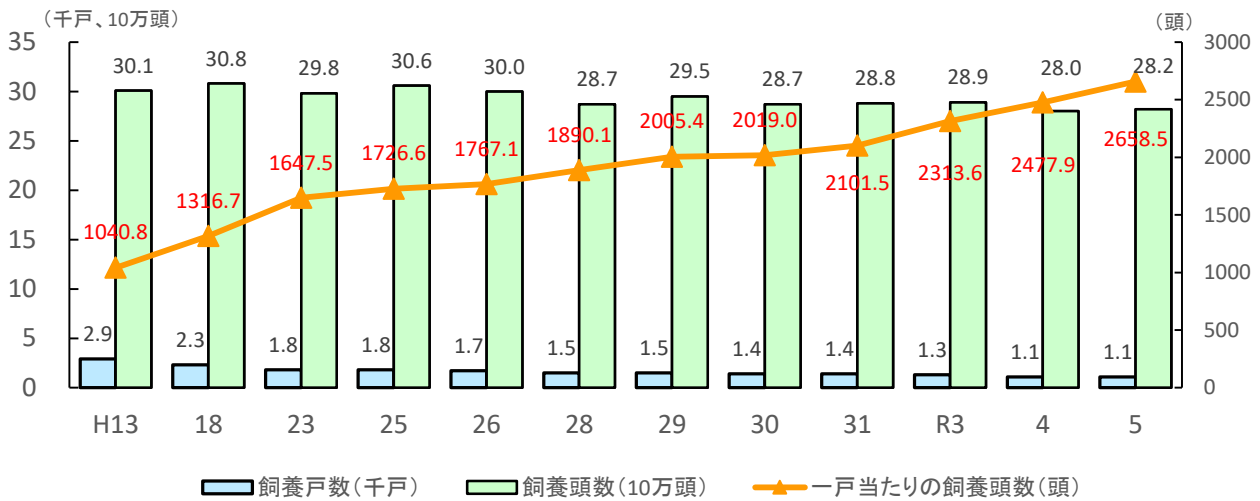
注2：子牛生産費については子牛1頭当たりの収益性、その他の生産費については、肥育牛1頭当たりの収益性データを掲載。

注3：調査期間＝令和3年4月から令和4年3月までの1年間。

資料：農林水産省「肉用牛生産費」

4 豚

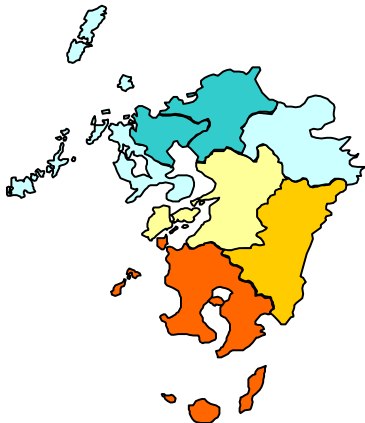
1. 豚の飼養動向（九州）



注：平成22年、27年、令和2年は農林業センサス実施年のため調査休止

資料：農林水産省「畜産統計」

2. 九州各県の豚飼養の現状（令和5年2月1日現在）



	飼養戸数	飼養頭数	飼養頭数の全国順位
全国	3,370	8,956,000	-
九州	1,060	2,818,000	-
(九州/全国)	(31.5%)	(31.5%)	-
福岡	39	78,800	26
佐賀	31	85,400	27
長崎	73	194,600	14
熊本	143	338,000	8
大分	40	149,700	25
宮崎	295	818,200	2
鹿児島	443	1,153,000	1

飼養頭数 ■ ~10万頭 ■ 10万~20万 ■ 20万~50万 ■ 50万~100万 ■ 100万~

資料：農林水産省「畜産統計」

3. 肥育豚1頭当たりの収益性（令和3年度・九州）

粗収益 ①	生産物		副産物価額(円) ※	費用計 ② (内訳は以下の③~⑤参照)	所得 ①-②
	販売時生体重(kg)	販売価格(円)			
40,129	115.2	39,092	1,037	35,136	4,993

物財費 ③	飼料費	獣医師料及び医薬品費	建物費	光熱水料及び動力費	農機具費	繁殖めす豚費	その他物財費	雇用労働費 ④	支払い利子・地代 ⑤

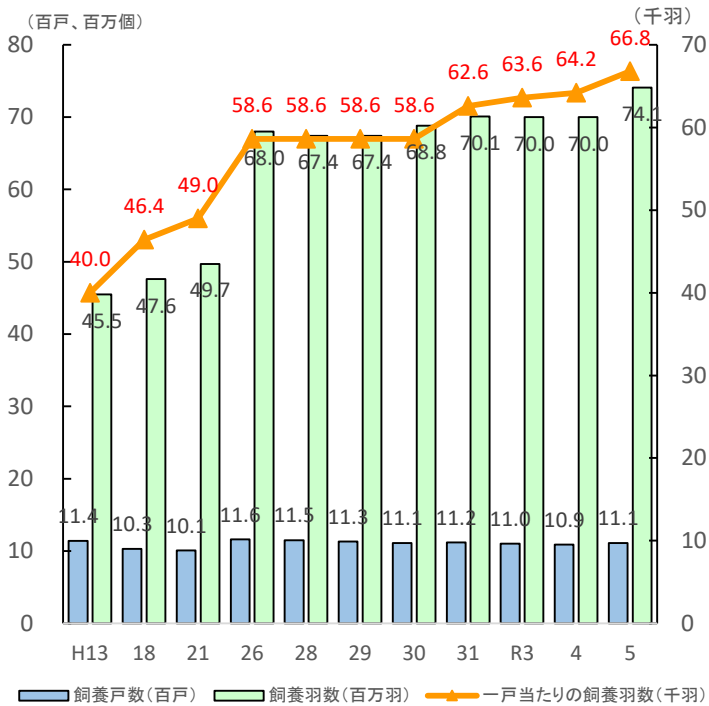
注1：副産物価額＝きゅう肥の販売価額及び自家仕向け分の評価額、繁殖めす豚の販売価額等。

注2：調査期間＝令和3年4月から令和4年3月までの1年間。

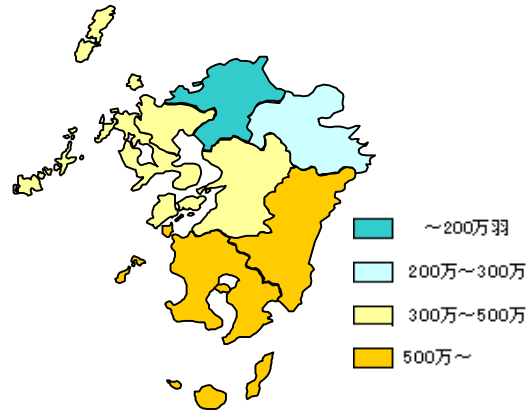
資料：農林水産省「肥育豚生産費」

5 ブロイラー

1. ブロイラーの飼養動向（九州）



2. 九州各県のブロイラー飼養の現状（令和5年2月1日現在）



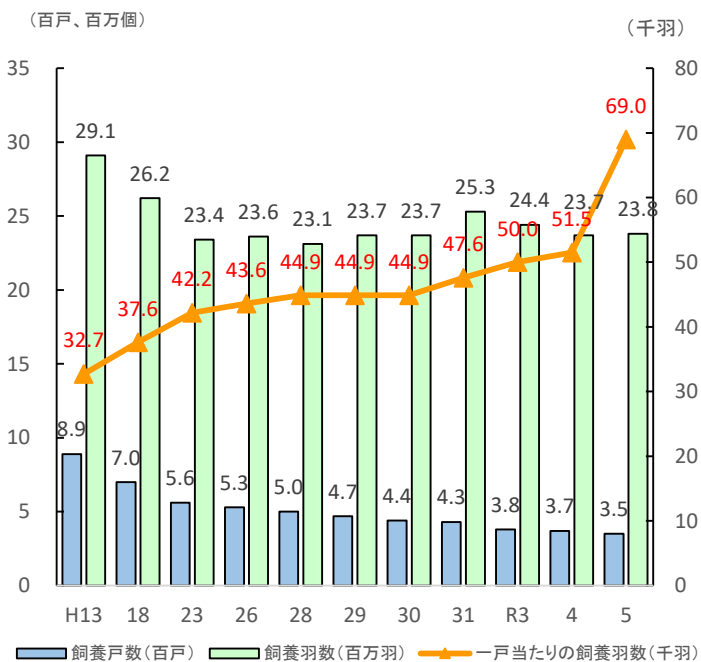
	飼養戸数(戸)	飼養羽数(千羽)	飼養羽数の全国順位
全国	2,100	141,463	-
九州	1,110	74,113	-
(九州/全国)	(52.9%)	(52.4%)	-
福岡	37	1,185	21
佐賀	62	3,949	7
長崎	50	3,024	10
熊本	63	3,969	6
大分	50	2,447	12
宮崎	462	28,254	2
鹿児島	390	31,285	1

資料：農林水産省「畜産物流通統計」、「畜産統計」

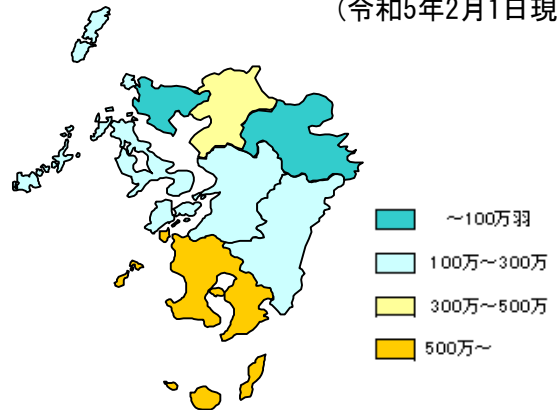
注：平成22～24年までブロイラーの飼養戸数・羽数の調査は中止。25年から再開。平成27年、令和2年は農林業センサス実施年のため調査休止。

6 採卵鶏

1. 採卵鶏の飼養動向（九州）



2. 九州各県の採卵鶏飼養の現状（令和5年2月1日現在）



	飼養戸数(戸)	飼養羽数(千羽)	飼養羽数の全国順位
全国	1,760	172,265	-
九州	345	23,815	-
(九州/全国)	(19.6%)	(13.8%)	-
福岡	62	3,454	21
佐賀	24	200	44
長崎	51	1,942	26
熊本	35	2,586	23
大分	14	962	32
宮崎	59	2,889	22
鹿児島	100	11,782	4

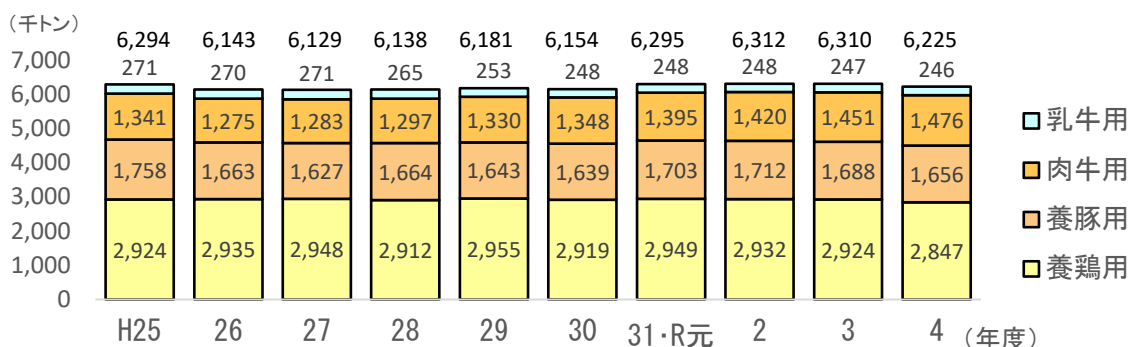
資料：農林水産省「畜産統計」

注：平成22年、27年、令和2年は農林業センサス実施年のため調査休止

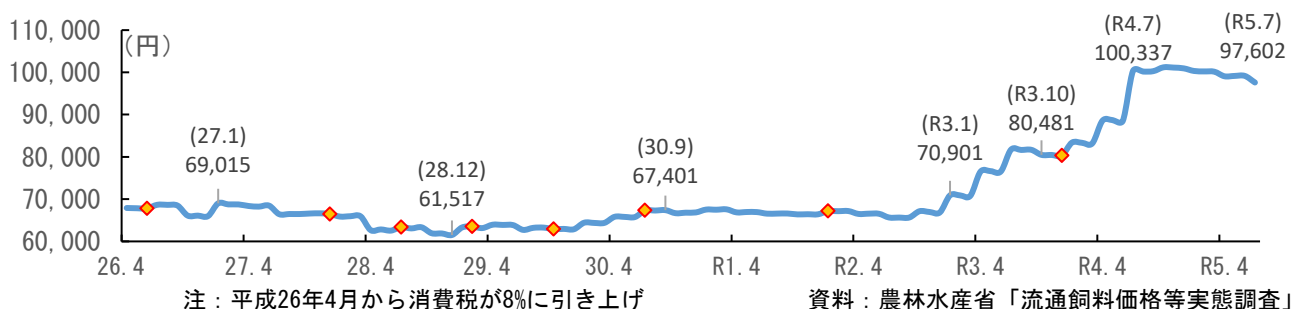
注：飼養戸数＝種鶏のみ飼養者を除く戸数。
羽数＝種鶏を除く羽数。

7 配合飼料

1. 配合飼料生産の推移（九州）

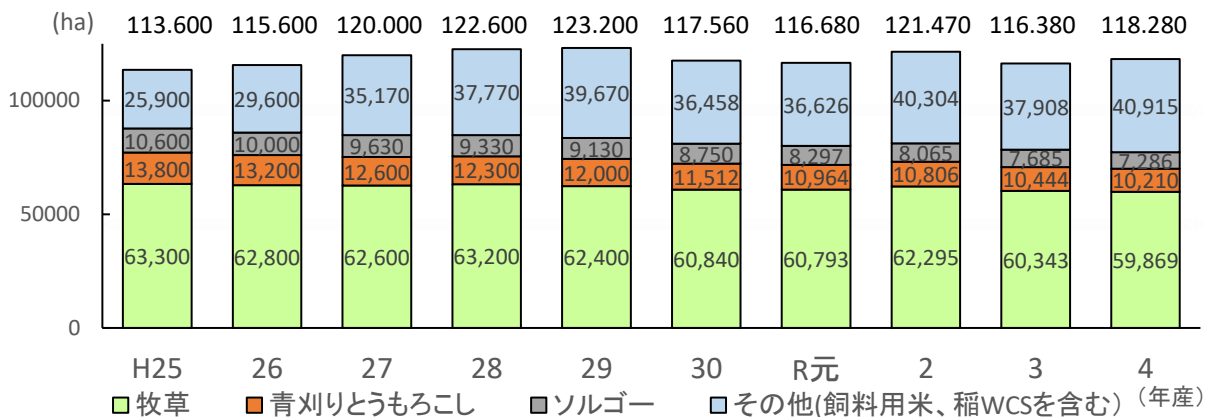


2. 配合飼料工場渡価格の推移〔バラ及び袋物の全畜種加重平均価格・税込〕（全国）



8 粗飼料

1. 飼料作物の作付面積の推移（九州）

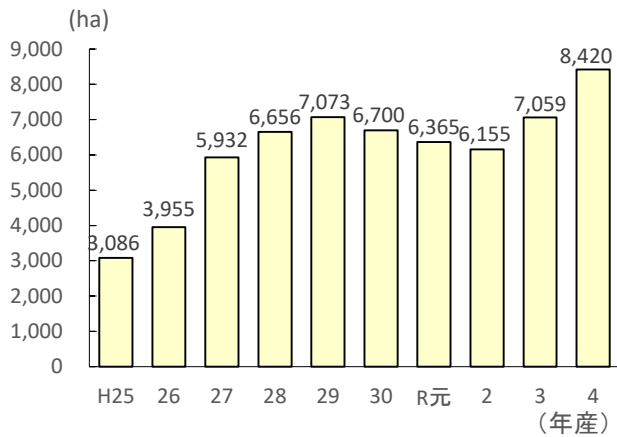


2. 飼料作物作付の現状（令和4年産・九州）

	計	牧草	青刈りとうもろこし	ソルゴー	その他
全国	1,026,000	711,400	96,300	12,000	206,300
九州(福岡県を除く)	118,280	59,869	10,210	7,286	40,915
(九州/全国)	(11.5%)	(8.4%)	(10.6%)	(60.7%)	(19.8%)
福岡	-	-	-	-	-
佐賀	4,180	899	12	314	2,955
長崎	11,400	5,790	428	2,050	3,132
熊本	28,900	14,200	3,080	638	10,982
大分	10,900	5,080	610	704	4,506
宮崎	33,200	15,400	4,560	2,400	10,840
鹿児島	29,700	18,500	1,520	1,180	8,500

注) 1及び2は調査範囲の変更により、R2年を除くH30年産以降は福岡県を含まない。

3. 飼料用米作付面積の推移(九州)

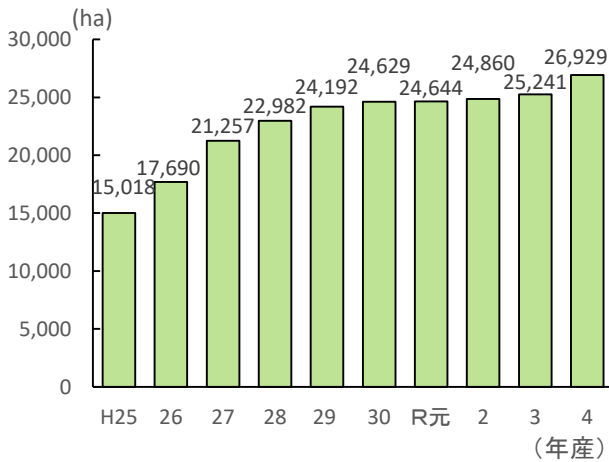


(単位: ha)

	H25	30	R元	2	3	4
全国	21,802	79,535	72,509	70,883	115,744	142,055
九州	3,086	6,700	6,365	6,155	7,059	8,420
(九州/全国)	(14.2%)	(8.4%)	(8.8%)	(8.7%)	(6.1%)	(5.9%)
福岡	811	2,033	1,969	1,886	2,192	2,482
佐賀	226	584	558	603	730	821
長崎	112	131	128	111	112	121
熊本	766	1,269	1,175	1,135	1,295	1,672
大分	734	1,428	1,362	1,355	1,565	1,802
宮崎	199	433	431	412	486	687
鹿児島	238	822	742	653	679	835

資料: 新規需要米の取組計画認定状況

4. 稲発酵粗飼料の作付面積の推移(九州)

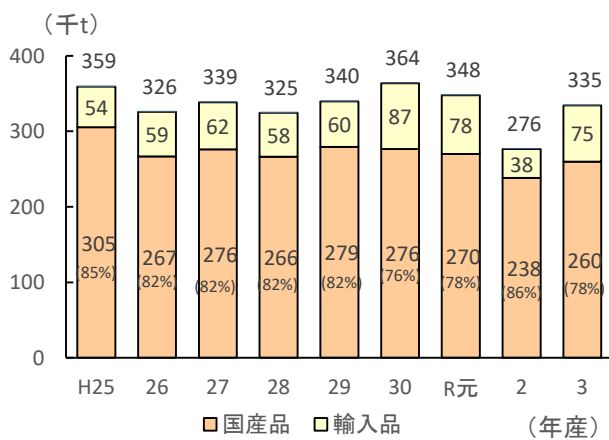


(単位: ha)

	H25	30	R元	2	3	4
全国	26,600	42,545	42,450	42,791	44,248	48,404
九州	15,018	24,629	24,644	24,860	25,241	26,929
(九州/全国)	(56.5%)	(57.9%)	(58.1%)	(58.1%)	(57.0%)	(55.6%)
福岡	1,049	1,500	1,497	1,517	1,657	1,837
佐賀	660	1,399	1,448	1,523	1,700	2,000
長崎	463	1,204	1,218	1,244	1,307	1,384
熊本	5,078	7,748	7,757	7,852	7,994	8,519
大分	1,460	2,451	2,458	2,526	2,432	2,589
宮崎	4,533	6,682	6,625	6,656	6,700	6,933
鹿児島	1,775	3,645	3,641	3,542	3,451	3,667

資料: 新規需要米の取組計画認定状況

5. 稲わらの利用量の推移(九州)



6. 畜産農家における飼料用稲わらの産地別利用量(令和3年産:九州)

(単位: t)

	計	国産品		輸入品
		県内産	県外産	
九州	334,542	259,915	13,378	74,627
福岡	6,777	6,296	487	481
佐賀	36,115	32,270	0	3,845
長崎	24,285	22,812	5,636	3,993
熊本	53,419	49,835	453	3,584
大分	32,588	31,873	448	715
宮崎	86,061	72,984	3,789	13,077
鹿児島	92,777	43,845	2,565	48,932

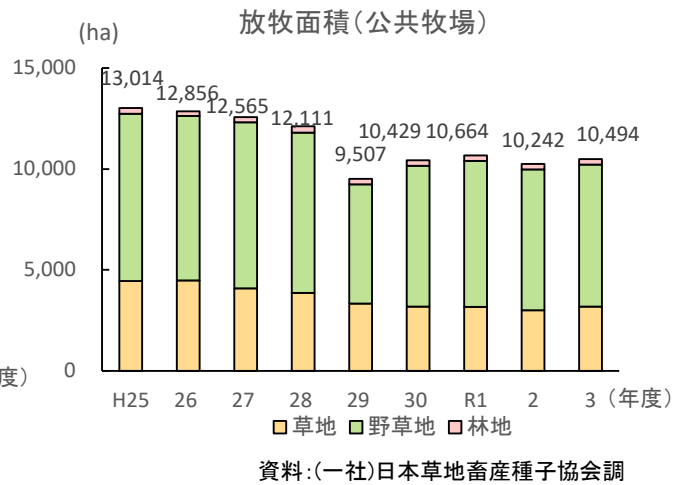
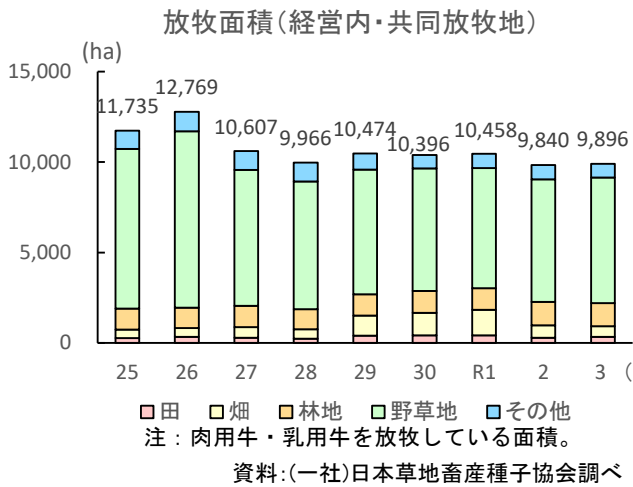
資料: 九州農政局畜産課調べ

注1: ()内の数値は、飼料用稲わらの利用量計に対する国産品の割合(%)。

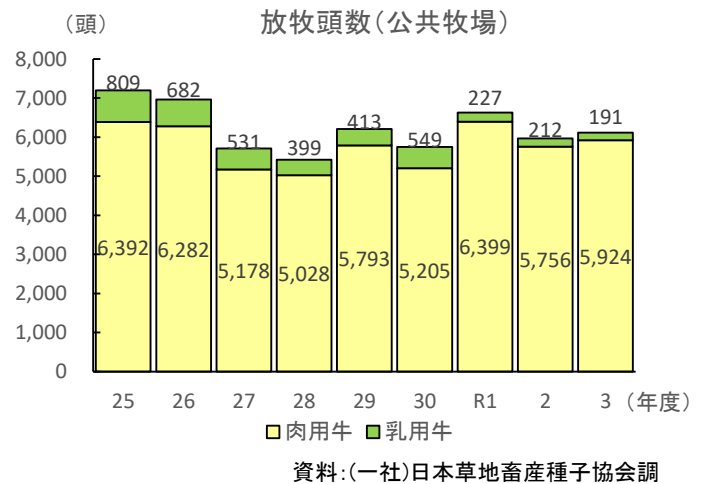
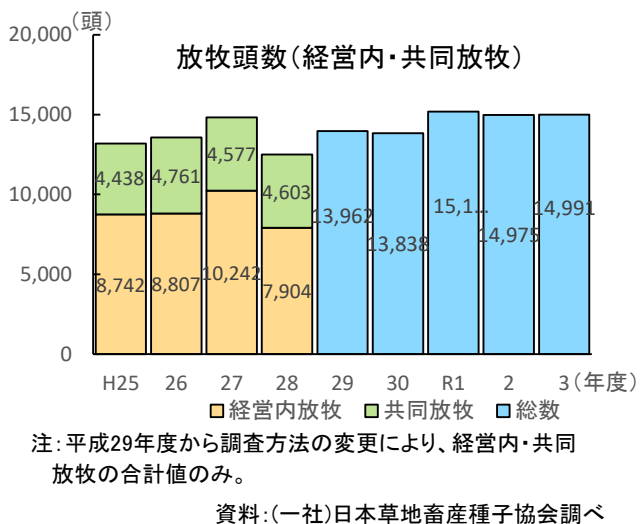
注2: 九州地域における稲わらの総生産量に対する飼料用仕向け割合は約32%(平成29年)

注3: 平成30年産から、調査内容の変更により、飼料用稲わらの利用量のみ。

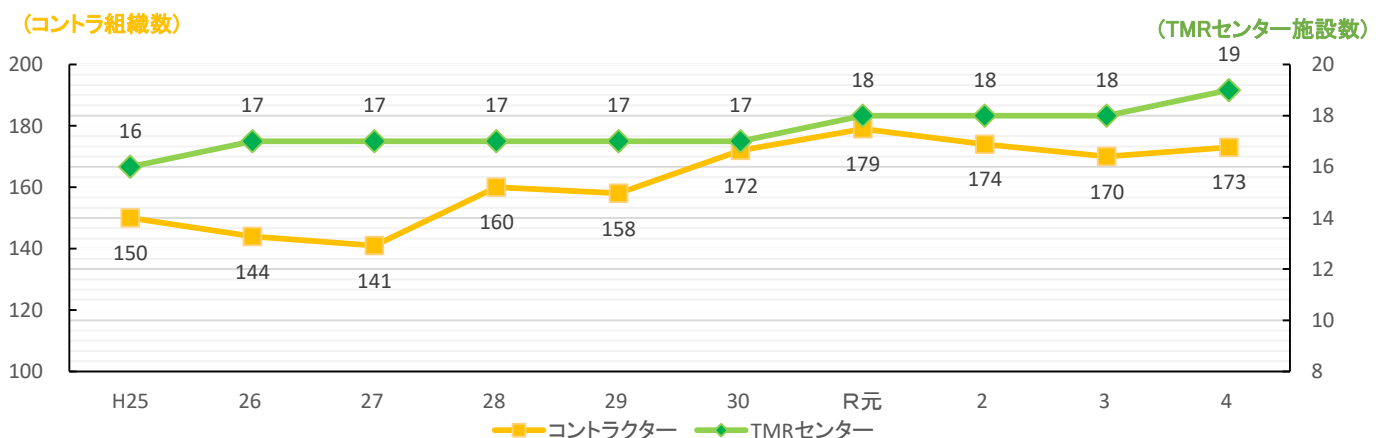
7. 放牧面積の推移（九州）



8. 放牧頭数の推移（九州）



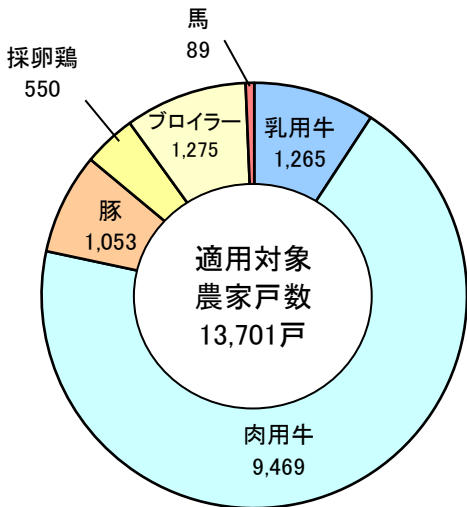
9. コントラクター組織数及びTMRセンター施設数の推移（九州）



9 畜産環境

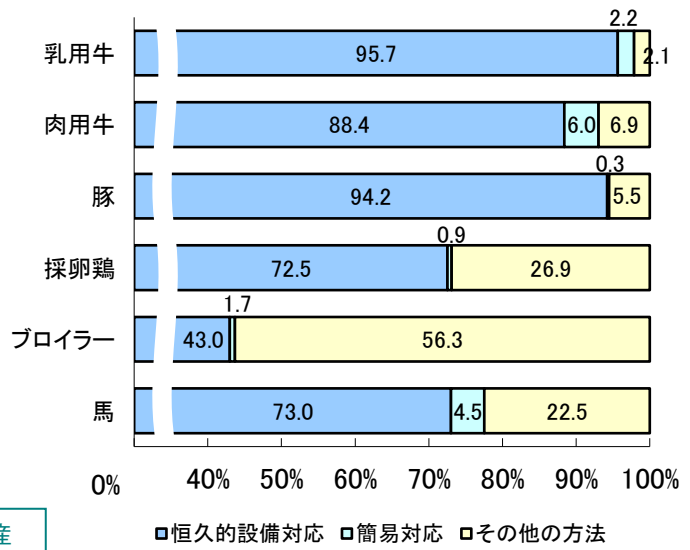
1. 家畜排せつ物法への対応状況(令和3年12月1日現在・九州)

(1) 管理基準適用対象農家戸数



※九州の管理基準適用対象農家戸数は13,701戸(九州の全畜産農家戸数の58.9%に相当)。
このうち構造設備基準に適合の農家数は13,701戸。

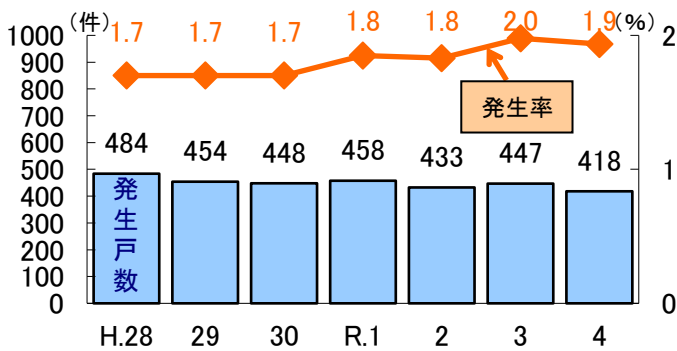
(2) 畜種別構造設備基準への適合状況



資料：農林水産省「家畜排せつ物法施行状況調査」

2. 畜産経営に起因する苦情発生状況(令和4年・九州)

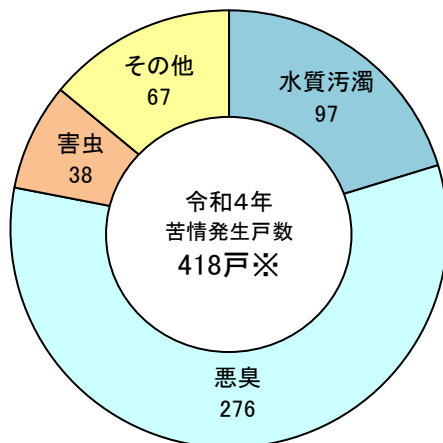
(1) 苦情発生戸数推移



(2) 畜種別苦情発生状況

畜種	飼養戸数	発生戸数	発生率
乳用牛	1,300	74	5.69
肉用牛	17,700	179	1.01
豚	1,130	89	7.88
鶏	1,460	76	5.21

(3) 苦情内容の内訳



※複数種類の苦情を併発しているものは1戸として計上しているため、苦情内容の内訳の合計とは一致しない。

資料：農林水産省「畜産統計(R4.2.1)」、「畜産経営に起因する苦情発生状況調査(前年7.1~調査年6.30)」

10 畜産における農業生産工程管理(GAP)について

畜産におけるGAP(Good Agricultural Practice: 農業生産工程管理)とは、農業生産活動の持続性を確保するため、食品安全、家畜衛生、環境保全、労働安全、アニマルウェルフェアに関する法令等を遵守するための点検項目を定め、これらの実施、記録、点検、評価を繰り返しつつ生産工程の管理や改善を行う取組のことです。

JGAP家畜・畜産物認証取得農場数及び一覧

令和5年7月21日現在

畜種	経営体数		所在県	経営体名称				
	全国	九州						
<乳用牛>	51	1	宮崎	株式会社松浦牧場				
<肉用牛>	85	19	熊本	独立行政法人家畜改良センター熊本牧場	株式会社矢岳牧場矢岳第2牧場	農事組合法人高原畜産総合公社	株式会社やました牧場	
			大分	株式会社スギモファーム山香牧場	株式会社スギモファーム久住牧場	大分県立農業大学校(乳用牛を含む)		
			宮崎	安楽畜産株式会社永野牧場	株式会社スギモファーム野尻湖牧場	宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター住吉フィールド(牧場)(豚を含む)	宮崎県立農業大学校(乳用牛を含む)	独立行政法人家畜改良センター宮崎牧場
				有限会社アグテック	株式会社ナニワランチマミー牧場			
			鹿児島	農業生産法人みらいファーム株式会社志布志直営農場	鹿児島県立農業大学校畜産学部(乳用牛・豚を含む)	有限会社前田農場	鹿児島県経済連田代肥育牛センター	株式会社尾崎牧場
<養豚>	54	5	宮崎	有限会社エムケイ商事 崎山農場(肥育)				
			鹿児島	南州農場株式会社佐多農場	南州農場株式会社AIセンター	南州農場株式会社根占農場	有限会社仮屋ファーム	
<養鶏(採卵)>	51	9	福岡	JR九州ファーム株式会社飯塚事業所				
			熊本	トップ卵ファーム(株)合志農場	トップ卵ファーム(株)美里農場			
			宮崎	フュージョン株式会社本社第1,2農場	フュージョン株式会社新富農場	新富エッグシステム株式会社18農場		
			鹿児島	南九州エッグシステム株式会社眩ヶ山農場	南九州エッグシステム株式会社末吉農場	鹿児島県立鹿屋農業高校		
<養鶏(肉用)>	32	1	鹿児島	鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社福山モデル農場				
合計	273	35						

経営体によっては複数の畜種で認証取得しているが、代表的な畜種でカウントしている。

【参考】農場HACCP認証農場数

令和5年9月26日現在

畜種	経営体数	
	全国	九州
<乳用牛>	34	0
<肉用牛>	103	7
<乳用牛・肉用牛>	3	1
<養豚>	104	20
<養鶏(採卵)>	84	12
<養鶏(肉用)>	13	3
合計	341	43

11 家畜衛生

1. 主な家畜伝染病の発生状況(令和4年1月～12月)

	単位	全国	九州		単位	全国	九州
流行性脳炎(牛)	頭	0	0	伝達性海綿状脳症(めん羊)	頭	0	0
流行性脳炎(豚)	頭	1	0	高病原性鳥インフルエンザ(鶏)	羽	223	36
豚熱(豚)	頭	28	0	高病原性鳥インフルエンザ(あひる)	羽	28	0
豚熱(いのしし)	頭	1	0	高病原性鳥インフルエンザ(だちょう)	羽	4	0
ヨーネ病(牛)	頭	1,147	18	ニューカッスル病(家きん)	羽	0	0
ヨーネ病(めん羊)	頭	4	0	腐蛆病(みつばち)	群	106	5
ヨーネ病(山羊)	頭	18	0	アナプラズマ病(牛)	頭	0	0
ヨーネ病(鹿)	頭	1	0	ピロプラズマ症(馬)	頭	0	0

資料：農林水産省「家畜伝染病の発生年報」

2. 届出伝染病の発生状況(令和4年1月～12月)

	単位	全国	九州		単位	全国	九州
アカバネ病(胎児感染)(牛)	頭	1	0	豚流行性下痢	頭	32	3
悪性カタル熱(牛)	頭	0	0	伝染性胃腸炎(豚)	頭	0	0
牛ウイルス性下痢(牛)	頭	119	28	低病原性ニューカッスル病(鶏)	羽	1	0
牛伝染性鼻気管炎(牛)	頭	12	4	馬鼻肺炎(馬)	頭	25	0
牛伝染性リハ腫(牛)	頭	4,334	1398	馬パラチフス(馬)	頭	17	2
牛丘疹性口内炎(牛)	頭	6	1	山羊関節炎・脳炎(山羊)	頭	4	0
破傷風(牛)	頭	118	64	鶏伝染性喉頭気管炎(鶏)	羽	74	17
破傷風(馬)	頭	1	0	鶏痘(鶏)	羽	18	5
気腫疽(牛)	頭	6	3	マレック病(鶏)	羽	11,392	819
サルモネラ症(牛)	頭	439	23	鶏伝染性気管支炎(鶏)	羽	96	9
サルモネラ症(豚)	頭	158	84	伝染性ファブリウス嚢病(鶏)	羽	16	8
サルモネラ症(鶏)	羽	0	0	鶏白血病(鶏)	羽	115	1
ネオスポラ症(牛)	頭	6	0	鶏マイコプラズマ病(鶏)	羽	15	7
レプトスピラ症(牛)	頭	0	0	ロイコチトゾーン病(鶏)	羽	94	0
レプトスピラ症(犬)	頭	38	8	鶏結核病(鶏)	羽	0	0
レプトスピラ症(豚)	頭	2	0	兎出血病(兎)	羽	1	0
ブルータング(めん羊)	頭	0	0	ノゼマ症(みつばち)	群	8	0
トキソプラズマ病(豚)	頭	57	0	バロア症(みつばち)	群	505	3
豚繁殖・呼吸障害症候群(豚)	頭	72	21	チョーク病(みつばち)	群	173	0
豚丹毒(豚)	頭	915	163	アカリンドニ症(みつばち)	群	94	20
萎縮性鼻炎(豚)	頭	0	0	伝染性膿疱性皮膚炎(めん羊)	頭	6	0
豚赤痢(豚)	頭	40	28				

資料：農林水産省「届出伝染病の発生年報」

国産畜産物の消費拡大にご協力ください！

牛肉をはじめとする国産畜産物の消費が低迷し、畜産農家の経営が危機に瀕しています。

消費拡大のため、まずは畜産関係者が…

- 会議等で牛乳を飲みましょう！
- 飲食の機会には国産食肉・卵等を食べましょう！



九州農政局 生産部 畜産課

〒860-8527 熊本市西区春日2丁目10番1号 熊本地方合同庁舎
【代表TEL】096-211-9111 【FAX】096-211-9745